

「 ヒトにも自然にもやさしい街中の移動を考えよう 」

1 趣 旨

街中での移動は生活・就学・就労に欠かせません。ところがエネルギー多消費による環境負荷や社会の超高齢化によって、石油や電力を多消費する移動を再考しなければいけない時期にきています。高齢者や障がい者の移動の権利保証には、移動手段・道路などのユニバーサルデザイン化が、エネルギー消費の抑制には、自転車・電気自動車を含めた移動手段の多様化が求められています。このような大きな課題は、専門家だけでなく一般市民も含めて議論を深める必要があります。「ヒトにも自然にもやさしい街中の移動」について考えましょう。

2 希望曜日・時間

第一希望：土曜日 午前・午後 1 時 ～ 午前・午後 3 時

第二希望：金曜日 午前・午後 7 時 ～ 午前・午後 9 時

3 講座コーディネーター

新潟大学工学部・教授 林 豊彦

4 主な受講者（ターゲット）

街づくり、都市交通、ユニバーサルデザイン、障害者支援に興味のある人（年齢不問）。

5 プログラム・指導講師

回	テーマ	内 容	講 師（予定）
1	みんなにやさしい街中の移動を考えよう	移動問題を総合的に捉えるために、移動手段、道路、標識、建物などの要素をユニバーサルデザインの観点から考えます。	新潟大学工学部 教授 林 豊彦
2	移動弱者を支える 車椅子・福祉車両・ 自動運転	高齢者や障害者は移動弱者になりやすいため、環境の改善が必要です。移動手段の観点から、車椅子、福祉車両、自動運転について学びます。	新潟大学工学部 准教授 今村 孝
3	移動にやさしい 街のデザインとは？	移動しやすさの観点から、道路などの街の構成要素と街の構造の最適化、および景観としての美しさについて学びます。	新潟大学工学部 教育学部 准教授 橋本 学
4	みんなにやさしい地 方の公共交通とは？	移動の効率化およびエネルギー消費の抑制のためには公共交通が欠かせません。地方の公共交通の現状と未来について考えます。	新潟大学経済学部 准教授 藤堂 史明
⑤	自転車は 地域を元気にする！	自転車は移動経路が自由なため、多様な人のつながりが生まれ、新しい活動が生まれます。自転車のもつ地域の活性化効果について学びます。	自転車ツーキニスト 疋田 智
6	歩行と自転車の健康 学	運動不足やストレスは生活習慣病の原因のひとつです。移動手段に歩行や自転車を加えることによる健康への影響について学びます。	新潟医療福祉大学 教授 大森 豪
7	エネルギーからみた 自転車の効率	燃料から運動エネルギーへの変換効率の観点から、自転車と他の移動手段を比べて、自転車のエネルギー効率がいかに高いかを学びます。	東京工業大学 名誉教授 本川 達雄
8	自転車と欧米の 街づくり	欧米の諸都市では、市内の移動手段として自転車が活用されています。いくつかの例を参考に、新しい街づくりについて学びます。	NPO 法人 自転車活用推 進研究会 理事長 小林 成基
9	電気自動車は なにを変えるのか？	現在、自動車の動力がエンジンから電気モーターに移行しつつあります。電気自動車とは何か、それによって何が変わるのかを学びます。	東京大学工学部 准教授 小竹 元基
10	ワークショップ： 近未来の都市モビリ ティーを考える	講義のまとめとして、講師と受講生でパネルディスカッションを行い、近未来の都市モビリティのあるべき姿について多面的に議論します。	ファシリテータ：林 豊彦 パネリスト：藤堂 史明、 今村 孝、橋本 学